

NPOメンタリングプログラム インパクト評価レポート

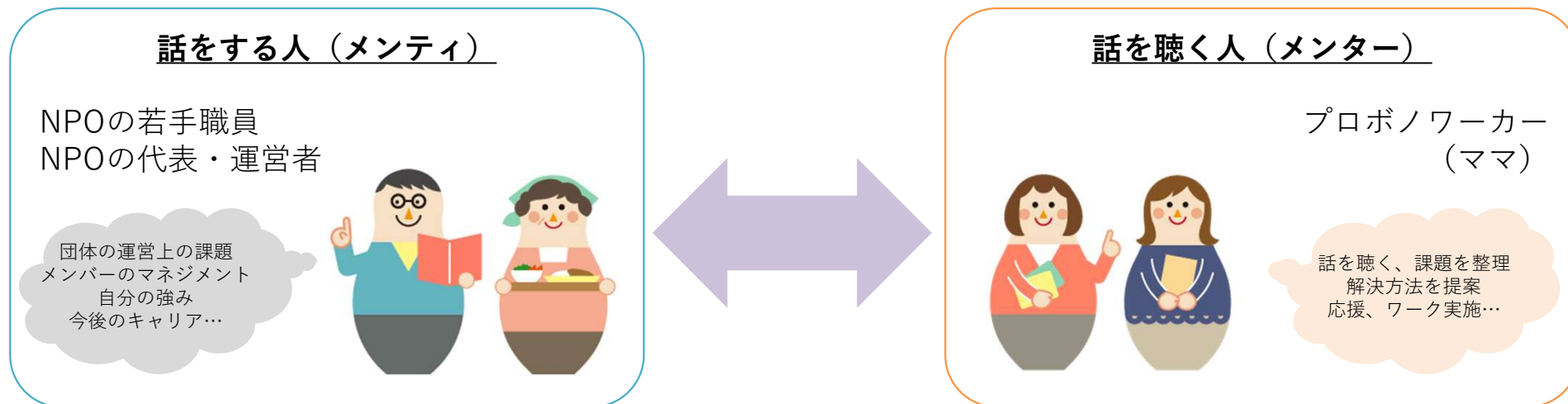
2025/5/8

認定NPO法人サービスグラント ママボノ事務局 担当：津田

mamabono@servicegrant.or.jp

NPOメンタリングプログラムとは

団体を応援する気持ちを持ちながら話を聴いてくれる「メンター」がいることで、NPOの運営者や職員の困りごとや悩みごとを整理し前に進むお手伝いをするプロボノプログラムです。



NPOメンタリングプログラム実施概要

- **実施方法**：オンライン（Zoom）
- **実施期間**：3ヶ月、月に2回実施を推奨
- **メンタリングテーマ**：話をするNPO（メンティ）の方が決定
 1. キャリア関連：自身の強み、仕事への取組身の姿勢、今後のキャリアなど
 2. 運営課題：メンバーのマネジメント、活動の方向性・広報についての壁打ちなど
- **メンターの役割**：話を聴く、課題の整理、課題解決方法の提案、エールを送る、強みを明確化するワークを実施するなど

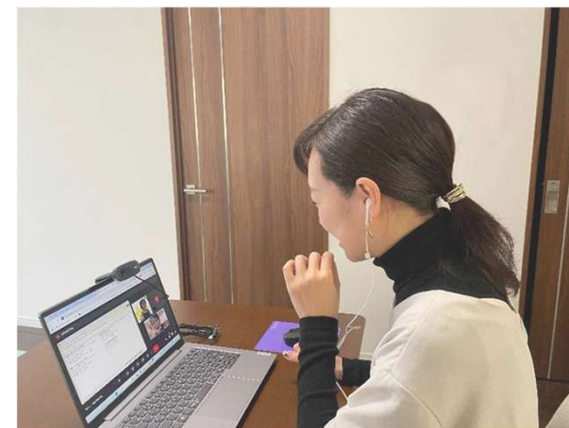
これまでの実績

2022・2023年度：自主事業として実施

- ・参加したNPO等 5団体10名
- ・参加したメンター 20名

2024年度：

- ・参加したNPO等 12団体23名（18組）
※内、内閣府 令和6年度 孤独・孤立対策推進交付金(孤独・孤立対策担い手育成支援事業)にて15組実施
- ・参加したメンター 36名

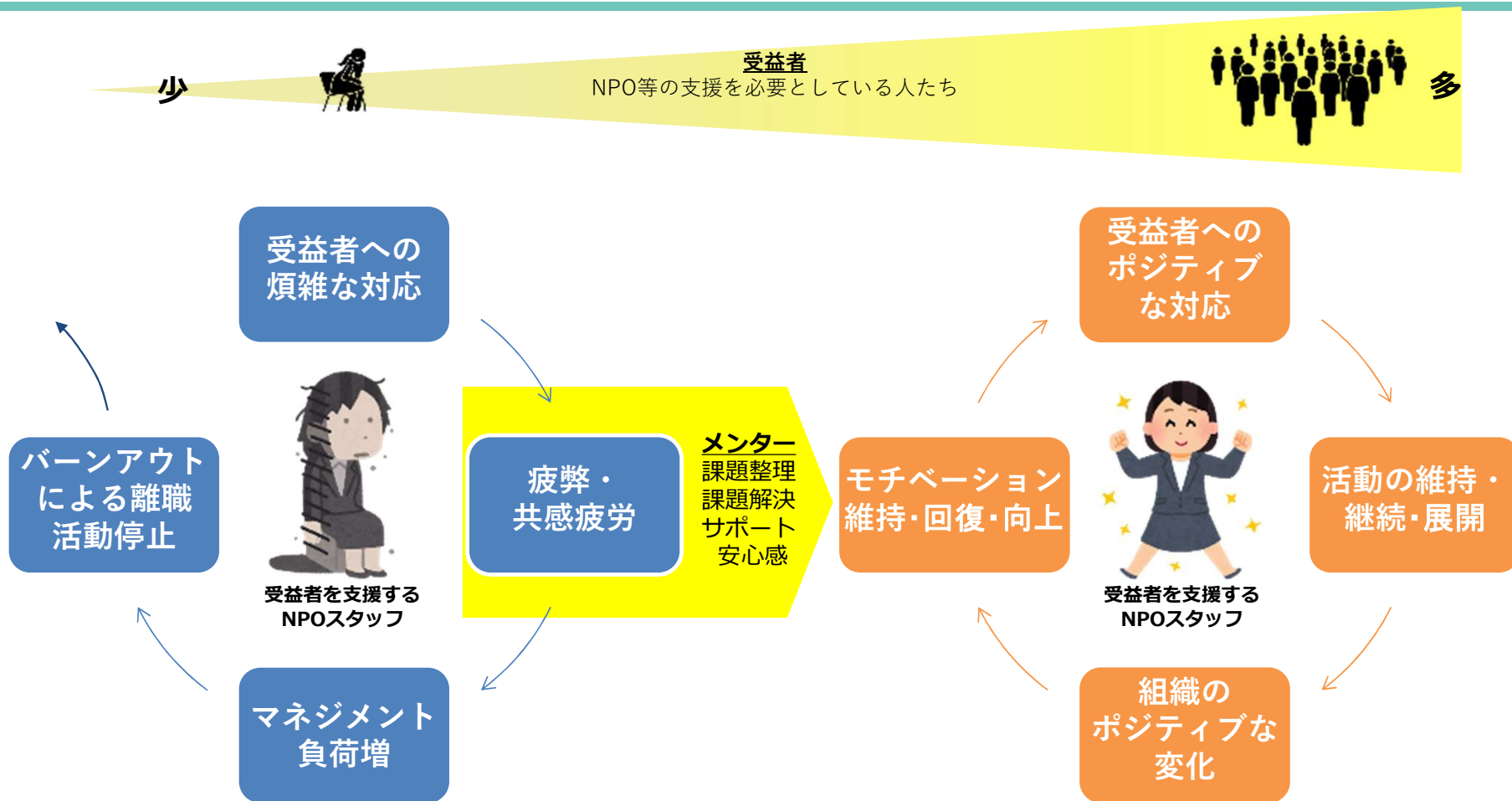


NPOメンタリングプログラムにおける「メンター」の目的

**3ヶ月伴走し、課題解決を支援することで、
代表・スタッフがさらに活躍し
社会課題解決に成果をもたらす**

≡ 団体と個人の課題に対する整理・提案のプロボノ

セオリーオブチェンジ：プログラムで目指すもの



インパクト評価 結果



NPOメンタリング
プログラム

実施概要

1. 初期アウトカム

- 対象者：2024年度参加者 12団体23名
- 実施方法：プログラム実施前後のアンケート 及び 実施後のインタビュー調査
- アンケート実施
 - ①NPOメンタリングプログラム実施前：実施日程 2024年10月29日～11月10日／回答数 17名
 - ②NPOメンタリングプログラム実施後：実施日程 2025年2月1日～3月5日／回答数 21名
- インタビュー実施：実施日程 2025年3月21日／実施人数 1名
※インタビュー記事 支援先団体の声

2. 中期アウトカム

- 対象者：2022・2023年度参加者 5団体10名
- 実施方法：アンケート 及び 実施後のインタビュー調査
- アンケート実施：実施日程 2024年10月29日～11月10日／回答数 6名
- インタビュー実施：実施日程 2025年2月18日／実施人数 1名
※インタビュー記事 [こちら](#)

インパクト評価の仮説：変化の構造

初期アウトカム

スタッフ・代表の心理面でのケアと課題解決が、
受益者へのポジティブな対応につながる



モチベーションと
安心感

受益者対応
・組織への
ポジティブな影響

業務上の
課題の解決

中期アウトカム

活動の維持・継続
・展開

離職率の低下
(バーンアウトしない)

支援の新たな展開

長期アウトカム

受益者が増える



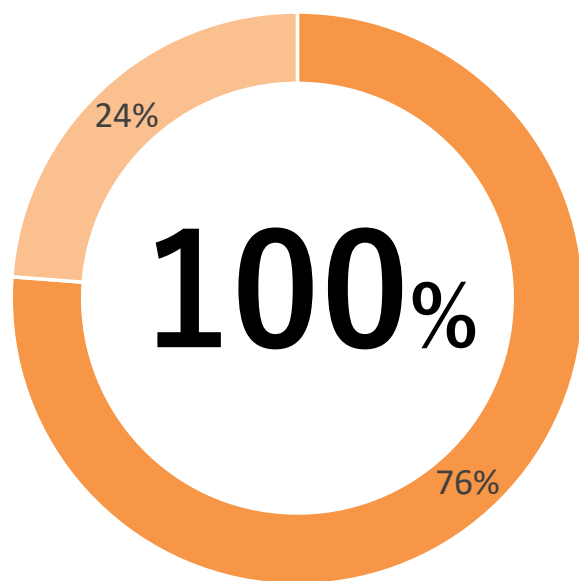
必要とする人に
支援が届く

1.初期アウトカム

全体的な満足度

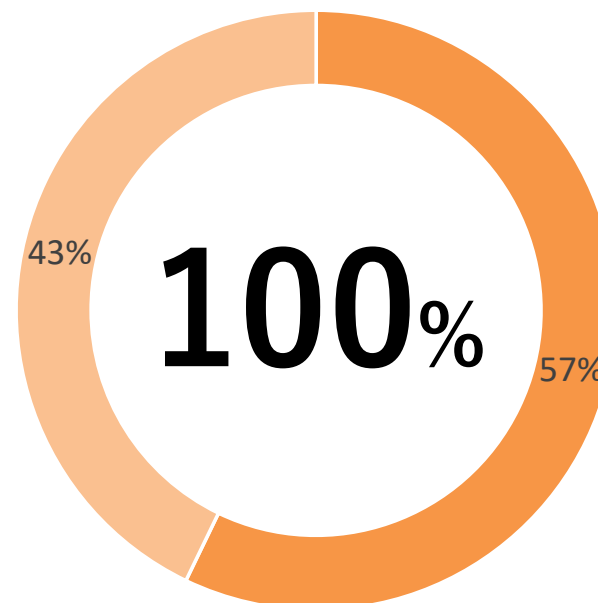
対象：2024年度プログラム参加者
n=21

プログラムに参加して、全体として、
よかったですと思いますか？



■ とてもよかった ■ よかった

他の人や他団体に勧めたいと
思いますか？



■ ぜひ勧める ■ 勧めたい

1. 初期アウトカム

受益者対応・組織へのポジティブな影響

対象：2024年度プログラム参加者
n=21

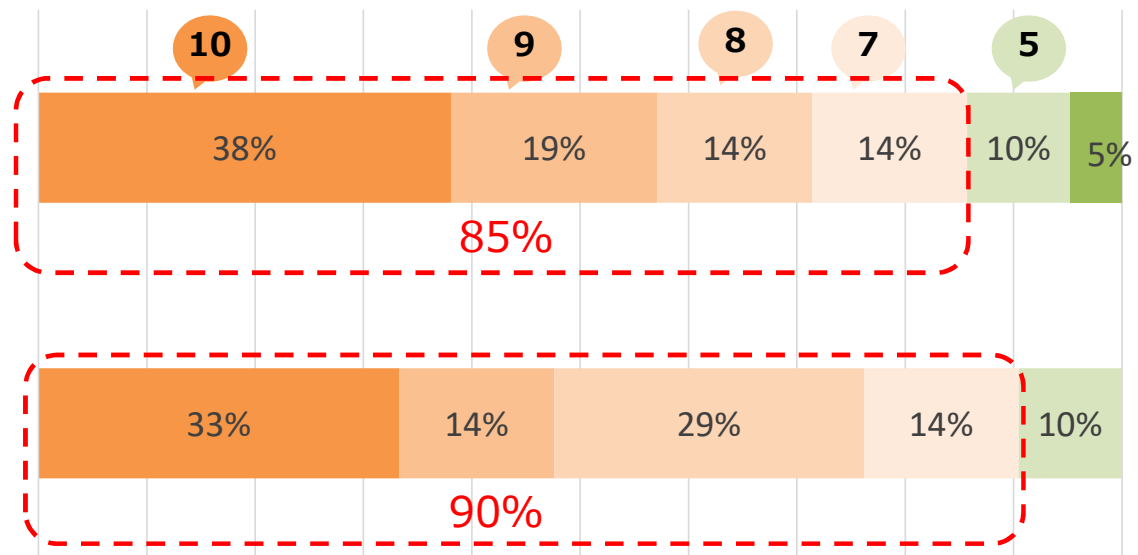
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

受益者対応にポジティブな影響を与えましたか？

ポジティブな影響を与えた受益者の数

3,002人

※7点以上を付けたプログラム参加者13名が
回答した受益者数を合算



今後のNPOの活動にどのような影響を与えようでしょうか？

■ とてもポジティブな影響を与える : 10 ■ 9 ■ 8 ■ 7 ■ 6 ■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ とてもネガティブな影響を与える : 1

自由記述

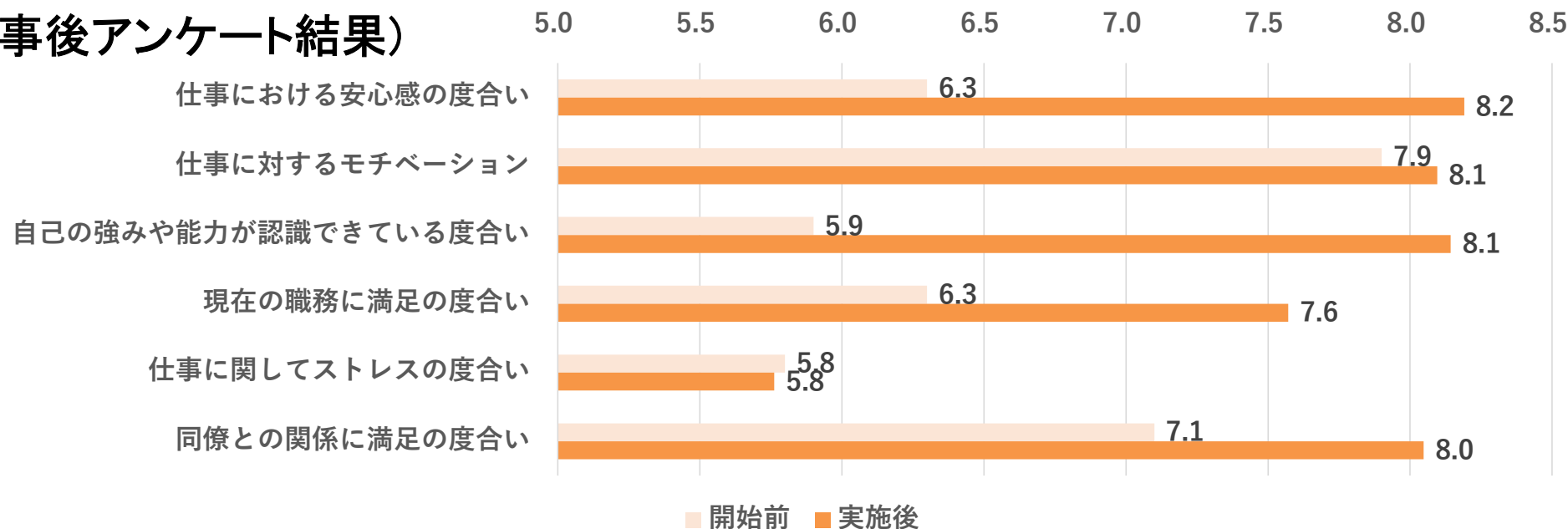
- ・ 受益者の転機になるような活動の機会を設けた。
- ・ 地域の企業のもとイベントの協賛のお願いへ行く背中を押していただき、新たに2社の協賛を得られた。
- ・ 壁打ちさせていただく中でアイデアが発展し、当初想定していたイベント内容よりも、準備段階でも色々な新しい人たちを巻き込みながら形にしていけることになりました。
- ・ 自分がこれまでやってきた成果を手放して、さらに前に進むためのきっかけを頂きました。

1.初期アウトカム

モチベーションと安心感（事前事後アンケート結果）

対象：2024年度プログラム参加者
開始前n=13／実施後n=17

（事前事後アンケート結果）



自由記述

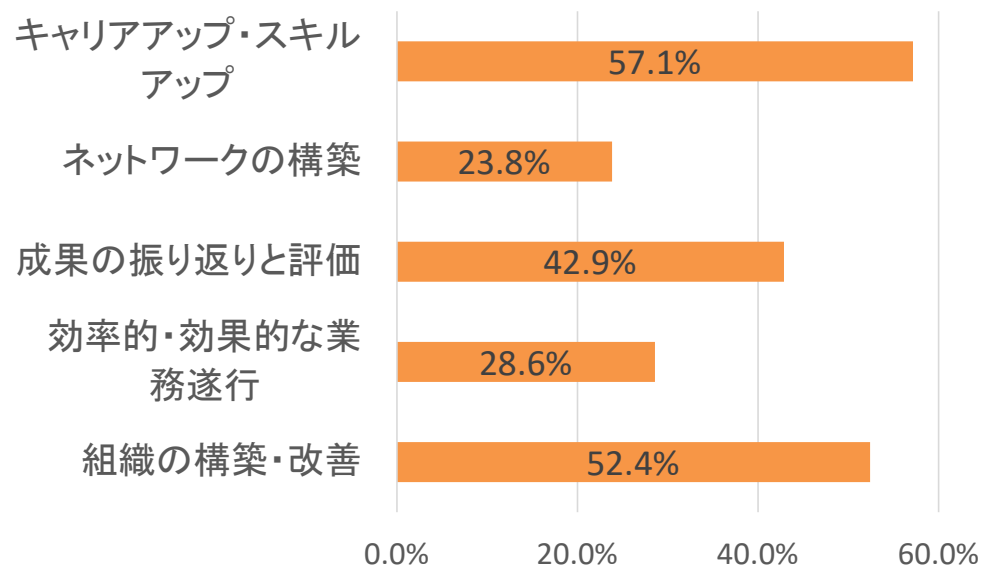
- ・ 自己肯定感が増えて心が元気になり、まだまだやれる！と思えた
- ・ 自分の仕事上で大事にしている価値観が見えて、実際仕事でも発言・行動に迷うことが減ったため
- ・ メンタリングプログラムを受ける前と比べて、仕事に対して前向きになるための工夫を自ら探すようになったと思う。
- ・ 自分の強みが言語化され、私が働く職場で培われるスキルの解像度が上がった。
- ・ 自分の強みが明確になり、自信を持てた。 ありがたい姿を言語化でき、具体的なアクションを描くことができた。
- ・ 自分の取り組んでいる内容やスキルについて客観的に整理して頂き視野が広がり、人にも説明しやすくなった。自信も持てるようになった。
- ・ 同僚との心理的安全性が高まった。

1. 初期アウトカム

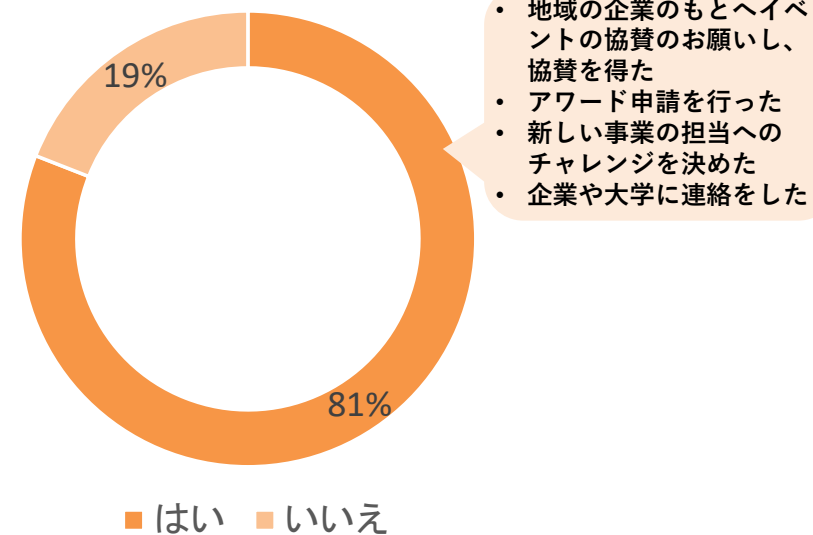
業務上の課題解決

対象：2024年度プログラム参加者
n=21

メンタリングプログラムを通じて実現したこと
・実現しそうなことを選択してください(複数選択可)



プログラムへの参加をきっかけに、
具体的なアクションを起こしましたか？



自由記述

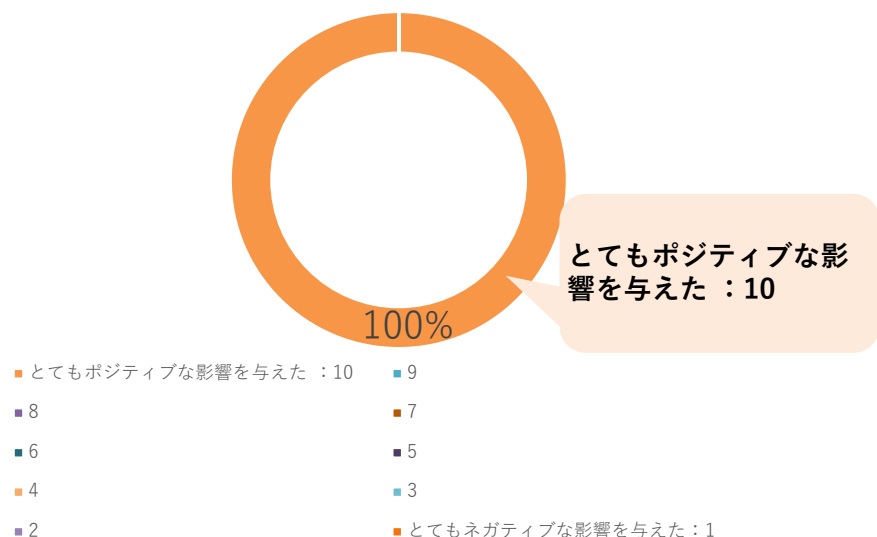
- 元々解決したかった課題への回答に加えて、自分に見えていなかった部分にも気付かせて頂きました。
- 具体的な動きを作れたことと、こちらが課題に感じていることについての的確にご意見をいただきました
- やるべきことがクリアになった。
- まだ自分でも言語化できていなかったアイデアなども、壁打ちしていただけたことでより明確になったと思います。

2. 中期アウトカム

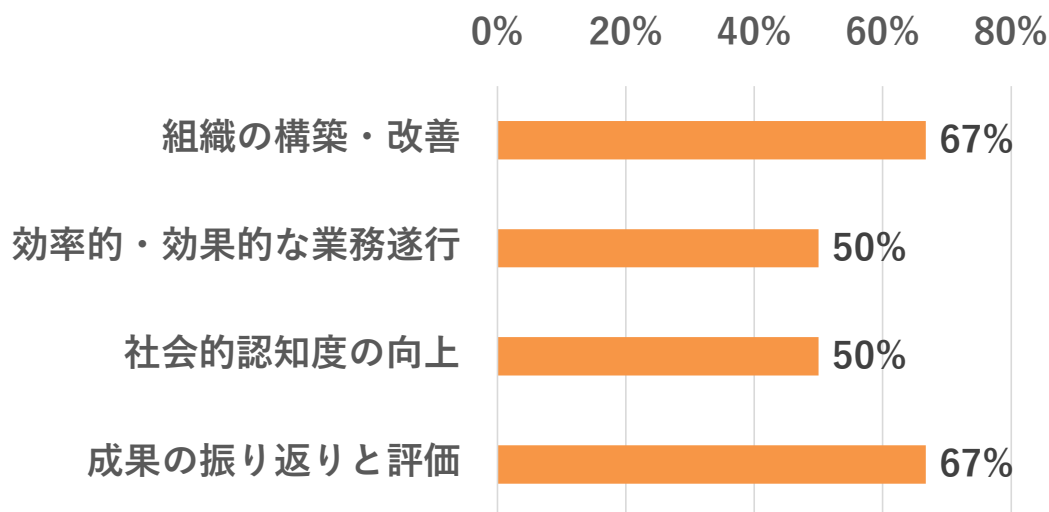
活動の維持・継続・展開（過去参加者へのアンケート結果）

対象：2022/2023年度
プログラム参加者 n=6

メンタリングプログラムへの参加は、
NPOの活動にどのような影響を与えましたか



メンタリングプログラムでの課題解決を通じて、
実現したこと選択してください



自由記述

- メンタリング前は、業務に対して自分が貢献できているのか自信が持てずにいたが、強みを把握することで、新しいプログラムを企画運営をしたり、リーダーとして取り組むことができた。
- 悩んだことや躓いたことがあっても、メンタリングで共有して整理することができる、と思いながら過ごすことができ精神的に安定した
- 助成金申請し受託した。プレスリリースの書き方講座を受けることができプレスリリースにつながった。
- メンターを参考に、チーム内で1週間・1か月の振り返りを実施。業務負担の見直しを図った。



NPOメンタリング プログラム

【ママボノ事務局】認定NPO法人 サービスグラント
150-0002 東京都渋谷区渋谷1-2-10 中里ビル4F
email: mamabono@servicegrant.or.jp

ママボノウェブサイト: <http://mamabono.org>
ママボノFacebook: <https://www.facebook.com/servicegrant.mamabono/>
ママボノInstagram: https://www.instagram.com/mamabono_jp/

企画・運営



Copyright© Service Grant Japan. All Rights Reserved.